

東光寺 板橋区板橋 4-13-8

創建年次は不明ですが、寺伝によると延徳 3 年（1491）に入寂した天誉和尚が開山したといわれています。当初は、船山（現板橋 3-42）あたりにあったが延宝 7 年（1679）加賀前田家下屋敷の板橋移転に伴って現在の場所に移りました。しかし明治初期の大火や関東大震災による火災、そして第二次世界大戦による火災と、度重なる火災や区画整理のため現在では往時の姿をうかがうことはできません。なお山号の丹船山は地名船山に由来し本尊は阿弥陀如来。境内には、昭和 58 年度、板橋区の有形文化財に指定された寛文 2 年（1662）の庚申塔と平成 7 年度、板橋区の有形文化財に登録された石地藏菩薩坐像、明治になって子孫が供養のために建立した宇喜多秀家の墓などがあります。（板橋区教育委員会掲示より）



道路わきの石柱



山門は新しい



本堂も新しい



庚申塔と石仏



宇喜多秀家供養塔



珍しい石仏



教育委員会説明版